



市川市立大洲中学校だより2月号

大洲のわれら



本校HP



令和5年2月6日

学校教育目標 「心豊かで活力のある生徒」の育成

夢や目標に近づくために

寒さの厳しい日が続いていますが、梅の花がほころび始め春の気配も感じられるようになってきました。先月号に引き続いて、夢や目標を持ち、それに近づくため、粘り強く取り組むことについてお話しします。東京大学教授で労働経済学研究者の玄田有史さんは『希望のつくり方』*という本の中で「Hope is a Wish for Something to Come True by Action. 希望とは、大切な何かを行動によって実現しようとする気持ちである。」と語っています。「希望 (Hope)」には四つの柱があり、一つ目は、ウィッシュ (Wish)、「気持ち」です。二つ目は、あなたにとっての大切な「何か」、サムシング (Something) です。将来こうありたいという何か具体的なことです。何とかしたいという自分にとっての大切な「何か」を見定めることが重要です。三つ目は、カム・トゥルー (Come True)、「実現」です。どうすれば実現する方向に近づいていくのか。そのための道筋や段取りを考えることが大切です。四つ目は、アクション (Action)、「行動」です。目標を定めてすばらしい作戦を立てても、そのための行動をしなければ希望をかなえることはできません。希望がみつからないときは、この四つの柱のうちのどれがみつからないかを考えるとよいと言います。そして、希望があると語る人には、共通するキーワードが3つあると言います。第一は、「修正」です。希望の多くは実現せずに失望に変わります。大事なことは失望した後に、つらかった経験を踏まえ、次の新しい希望へと柔軟に修正していくことです。希望の修正を重ねることで、やりがいに出会えます。第二は、「挫折」です。現在希望を持って仕事をしている人の割合が圧倒的に高いのは、挫折を乗り越えた経験を持つ人々です。過去の挫折の意味を、自分の言葉で語れる人ほど、未来の希望を語るができます。第三は、「無駄」です。挫折を経験し乗り越えてきた人ほど、無駄になるかもしれない努力をいとわない傾向があることです。人生ふりかえれば無駄なことなど何もない。希望は「あえて迂回し、距離を取る」ということによって出会うことができる、と言っています。

大洲中生の皆さんの希望の四つの柱は、今どのような状態でしょうか。夢や目標を持ち、それに近づくため、たとえ、それが最短距離でなくても良いと思います。自分ができる最善を尽くし、粘り強くやり抜くという気持ちをもって、一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。

*『希望のつくり方』玄田有史 2010 岩波新書

2月、3月の主な行事予定

2月	2日 (木) 新入生保護者会	3月	3日 (金) 公立高校入学許可候補者発表
	3日 (金) 第5回学校運営協議会		10日 (金) 卒業証書授与式
	8日 (水) 定例研 (給食後下校)		16日 (木) 給食最終日
	9日 (木) ~テスト前放課後諸活動停止		17日 (金) 専門委員会
	13日 (月) 3年期末テスト		20日 (月) 2年保護者会
	16日 (木) 1、2年期末テスト①		22日 (水) 1年保護者会
	17日 (金) 1、2年期末テスト②		23日 (木) 大掃除
	20日 (月) 3年自宅学習日		24日 (金) 修了式・離任式
	21日 (火) 公立高校入学者選抜検査①		
	22日 (水) 公立高校入学者選抜検査②		
	27日 (月) 専門委員会		
			3月25日 (土) ~ 4月6日 (木) 春休み

大洲中生の活躍！

第34回五市合同技術・家庭科作品展

市川市教育長賞 家庭 Y.Rさん (2-4)
 入選 家庭 Y.Rさん (2-4) C.Yさん (2-1) I.Hさん (2-2)
 技術 T.Hさん (1-2) Y.Sさん (1-1) K.Yさん (1-3)
 M.Sさん (1-4)



第5回学校運営協議会を開催

2月3日（金）大洲中学校地域開放室にて第5回学校運営協議会を開催しました。今年度最後の協議会となりますので、学校評価アンケートの結果をもとに学校関係者評価をしていただき、今年度一年間のまとめをしました。学校関係者評価の結果は、学校ホームページに掲載しますので、ご覧ください。そして、令和5年度の学校運営方針案を承認していただきました。学校運営協議会では、地域住民と保護者を代表する委員が、地域・保護者の意見を学校運営に反映させ、コミュニティ・スクールとして学校の教育活動の充実について話し合っています。



学校保健委員会を開催しました

1月25日（水）令和4年度学校保健委員会を開催しました。学校歯科医・学校薬剤師の先生方と保護者代表の方にご参加いただき、本校の保健活動を報告して生徒の健康や学校の保健教育について協議しました。今年度は、保健委員会の委員長W.Tさん(2-5)、副委員長S.Kさん(2-2)から、生活チェックアンケートの活動をした結果、大洲中生の食事に関して改善が見られたことが報告されました。また、3年生は7月に「思春期の心と体」、2年生は12月に「姿勢のひみつ。正しい姿勢とは?」、1年生は12月に「成長期の運動と食事」について、保健教育講演会を実施したこと、定期健康診断結果、保健室の利用状況、保健委員会の活動、給食、新体力テスト結果と体育活動等を報告しました。その後、本年度の反省と来年度の課題について、姿勢のこをを中心に協議しました。学校薬剤師の藪田先生から「正しい姿勢は、歳を取ってからでは難しいので、中学生のうちに身につけてください。」、学校歯科医の河内先生から「保健委員会の取り組みが素晴らしかった。目標を立て、実践し、再評価する、そして、持続していくことが大切です。」とアドバイスをいただきました。引き続き、大洲中生が食事・睡眠・運動の整った規則正しい生活習慣を身につけられるようご家庭と学校の双方から支援をしていきたいと思ひます。



校長室より

◆学校給食費が令和5年1月から無償になっています。来年度から進級する際に、毎年、学校給食申出書の提出が必要となりました。市教育委員会からの案内がありましたとおり、1、2年生の保護者の皆様におかれましては、2月15日（水）までに申請サイトにアクセスして電子申請で学校給食申出書の提出をお願いいたします。

◆昨年のことになりますが、近隣の方から学校に電話が2件ありました。1つは、車で道を曲がろうと一時停止していたところ、下校する生徒の集団の列に行き会いました。ある生徒が「道を空けて。」と声を上げて、車を通れるようにしてくれたとの感謝の電話でした。もう1つは、家の庭先で倒れてしまった高齢者の方を下校途中の数名の本校生徒が助けてあげていたという電話でした。大洲中生の心豊かで思いやりのある行動を聞いて、とても嬉しく思いました。大洲中生を見守り、良いところを見つけてくださる地域の方々に感謝申し上げます。



（文責 校長）